

*訳注: スペイン語およびスペイン語起源の語彙に対しては「違い」を明示する目的で、カギ括弧付での英語(英語起源のカタカナ語—ときどき「ルー語」みたいなやつ)の斜体文字表記を訳語とします。

"「アイアム・クレイジー・フォー・ユー・アメリカ」=ヴィラはラテンアメリカ性を歌う"

導入

ヴィライザベルは、エンヘッドを提示するにあたり、ラテンアメリカの文化的アイデンティティの保全と肯定を求める警鐘を鳴らす。ユカタン半島からティエラ・デル・フエゴまでの長きに亘る地域に生きる人々に対して行う顕彰によって、コロンブス以前の人々や白人・黒人・先住民の三者の伝統を結びつける要素である混血の形成に根ざす、我々の文化の根源の回復を目指す。

"「アイアム・クレイジー・フォー・ユー・アメリカ」=ヴィラはラテンアメリカ性を歌う"は、第一義的に、ラテンアメリカ諸国に向けた愛の情熱的な告白であり、これをもって、文化的な類似性による繋がりを強化し、各地域の行動様式にみられる文化の豊かさと多様性に象徴される巨大なモザイクを作り上げようとするものである。その意味でまず、ブラジルの歴史について概観し、その文化的様式の(ラテンアメリカ内)諸地域との共通点を提示する。

21世紀初頭である現在、ブラジルは、排他性が低く、最も人道的で平等な、事実上世界で唯一真のグローバル化の成果である人工国家としての地位を誇っている。したがって、「ブラジルの最大の長所はブラジル人である」という主張こそが、「世界市民意識」の創造にあたって必要となる魔術的仕組みの核となるべきものとなる。ブラジルをしてこの流れを率先していくべき地位に置く、この魔術的仕組みの内容としては、ブラジル人の特徴である、寛容性、温和性、熱帯的特性、実用性重視の文化、合意形成の習慣、他国に比べて外国人排斥を嫌う性向、どのような逆境に臨んでも単純に陽気であることなどが挙げられる。すなわち、ブラジルには、偉大な解放者シモン・ボリバルが描いた、一筋の紐帯によって自主的に全てが結ばれた自由な唯一の新世界国家創造という夢を実現することができる。ラテンアメリカが、自由と希望と未来の地となるのだ。

内容

本日、ヴィラはそれ自体が叫び声となり、革命の歌声となり、大陸中の声と合わさって強い闘いの叫びとなって、ひとつの民となりひとつの歌を歌うよう、ラテンアメリカ全土に呼びかける。

それは1曲のサンバであり、それがこの連鎖を統合し、「ホット」な血が流れる、絡み合うような血管を形成する。その血液こそ、ラテンアメリカの人々を強く勇敢たらしめるものであり、長い間、人々のアイデンティティを賭けた防衛戦の中で流されてきたものだ。

色と音とリズムと味が狂おしいばかりに溢れ、夢が歴史に絡みついて自由に飛び回る。その夢は、コンドルが青い空に向かうように急上昇し、「太陽の帝国」を輝かせる。黄金の寺院。魔法の都市。密林の村。そして空と大地を、人と自然を混じりあわせていく。

楽園は汚される。血と鉄によって、海を越えてやってきた明るい色の強欲の眼によって。戦争の主導者達、そして十字架と剣を携えた騎士達が、神話と信仰を募る。だがそれは、血と汗によって書かれた痛みのページである。

祝福を受けた混血の母、アメリカ！その豊満な胸に、遠いアフリカの黒い肌を持ち、「キング」と信仰の名のもとに富を生み出す労働力を持ち、新世界の中の新世界を作り出した者。ブラジルスオウの木、バナナ共和国、砂糖の島、コーヒー帝国。

ラテンアメリカは、混合をして勇氣と勇敢の素として、歴史の流れを変え、断片を繋ぎ合わせ、極彩色のモザイクを作り上げ、性格の繊維を編み上げていった。速く鼓動する心臓。挫けない自由の気風。たおやかで忍耐強い魂。熱帯性。混褐色。

神がラテンアメリカを救いたまうように！！！！全ての国の中で最高の存在でありますように！！！！我々はラテンアメリカの多様性を称え、赤道直下、赤道近辺、赤道以南に生まれた多くの英雄、指導者、詩人、人民、美德、罪を顕彰する。

本日、ブラジルは国境を廃止し、「ポルティン語(造語:ポルトガル語+スペイン語)」の詞をもって、最も美しい韻を探り、ラテン性を歌い上げる。我々は血と情熱によって、一人が皆のために、皆がラテンアメリカのために存在する。強くそして「クレイジーに」心臓に刻まれる「チカチカブン」のリズムが、混血の誇りを送り出し、ラテン人民を一つにし、統一国家「統一人権国」を作る。皆が平等に生き、自由に存在し、助け合う友愛の国。

そして、解放者ヴィラ・イザベウは、カーニバルの魔力の中でポリバルの夢を実現する。ブラジル人の「なんとかする気風」がこの統一を促進する。あたかもラ・バンバを踊りながら、サンバの風味を利かせ、サルサ、マンボ、メレンゲも取り入れ、タンゴのパソ・ドブレにまで手を出し、ルンバとコンガの間に揺れて、独自の混合を作り出すかのように。色とりどりで熱帯風の独特の形で戴冠しつつ、胸を誇らしげに叩きつつ、宣言する。「『アイアム・クレイジー・フォー・ユー・アメリカ』、そして『レボリューション』万歳！！！！」

アレシャンドリ・ロウザーダ、アレックス・ヴァレーラ、マルチーニョ・ダ・ヴィラ

ヴィラ・イザベウ 2006年

(サンバ・エンヘード)

アンドレ・ヂニース、セルジーニョ・ヴィンチ、カルリーニョス・ド・ペイシェ、カルリーニョス・ペチスコ

「ホットなブラッド」が血管を流れる
今夜は太陽の帝国の夜
ヴィライザベルは仕込む
詞を「ポルテイン語」で
そして深淵の世界への飛行を試みる
「ゴールデンな」野心の果実
熱帯の自然が
異種族混交の花を咲かせる

「アイアム・クレイジー・フォー・ユー・アメリカ」
その風味にメタぼれ
豊満さが支配する、混血の、母なる大地
色の統合

「カルチャーのフォレスト」の奥深く
ソブレロからシマホンまで
強く存在する「フォンドネスをルーズすることなく」
この地を愛する心が
澄んだ水の輝きが
作り上げる自由が
国境を消していく
ここに平等を描き出す
「ゴー・アヘッド」ヴィラ!!!
強く、そして連帯して
解放者の夢を叶えよう
ラテンの神髄はボリバルの光
極彩色のモザイクに反射する

「ラバンバ」を踊ろうとして、サンバに走る
ラテンアメリカの音
幸せの鼓動に乗せて
「マイ・ハートがビートする」